令和５年度　公共事業再評価

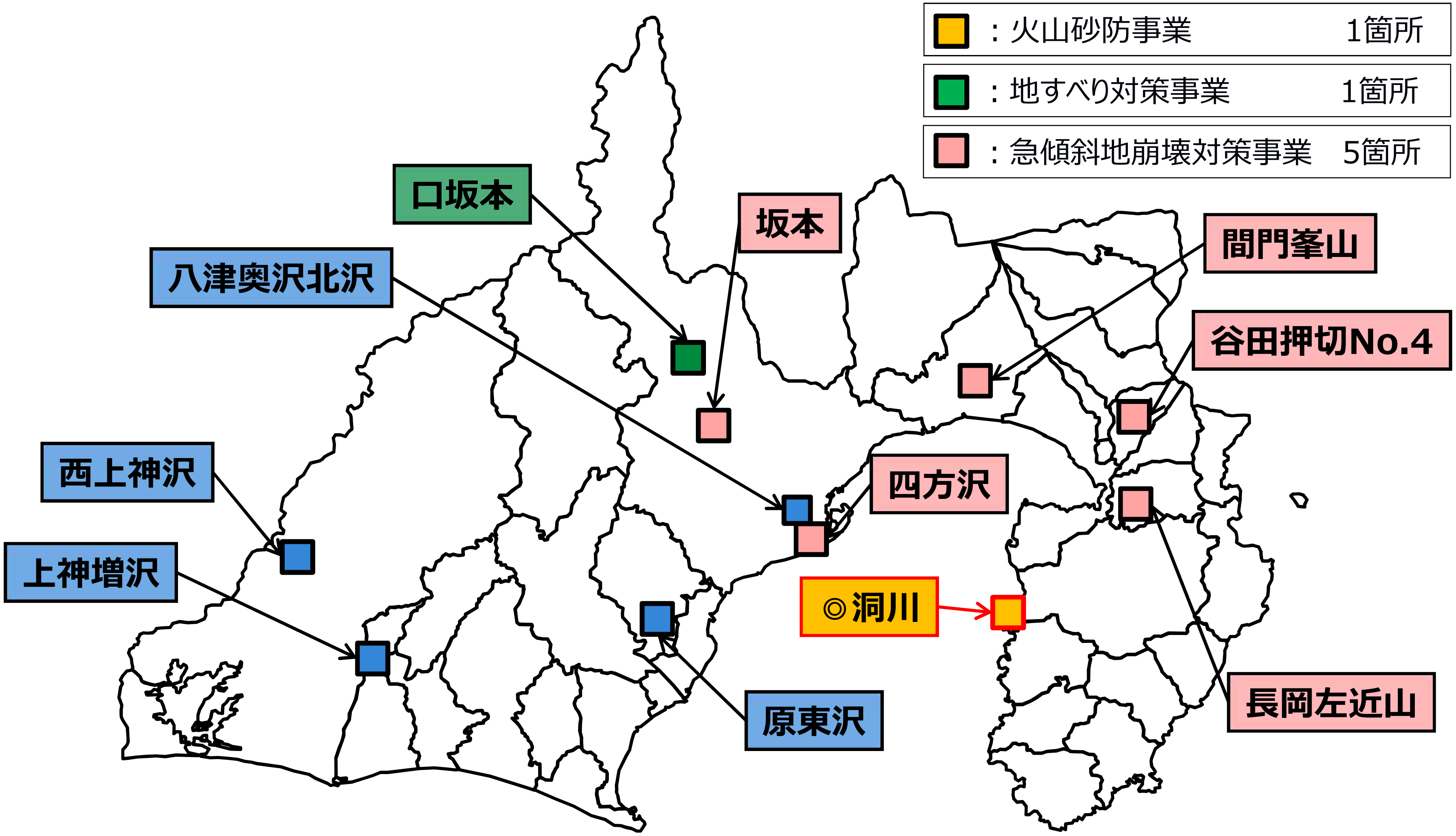
通常砂防事業：4事業　　火山砂防事業：1事業
地すべり対策事業：1事業
急傾斜地崩壊対策事業：5事業　　　　　　　　　　　計11事業

番号	事業名	箇所名	代表説明事業
16	通常砂防事業	上神増沢（かみかんぞざわ）	
17	通常砂防事業	八津奥沢北沢（やつおくさわきたざわ）	
18	通常砂防事業	原東沢（はらひがしさわ）	
19	火山砂防事業	洞川（ほらがわ）	◎
20	通常砂防事業	西上神沢（にしかみかんざわ）	
21	地すべり対策事業	口坂本（くちさかもと）	
22	急傾斜地崩壊対策事業	長岡左近山（ながおかさこんやま）	
23	急傾斜地崩壊対策事業	谷田押切No.4（やたおしきり）	
24	急傾斜地崩壊対策事業	間門峯山（まかどみねやま）	
25	急傾斜地崩壊対策事業	四方沢（よもざわ）	
26	急傾斜地崩壊対策事業	坂本（さかもと）	

交通基盤部　河川砂防局　砂防課

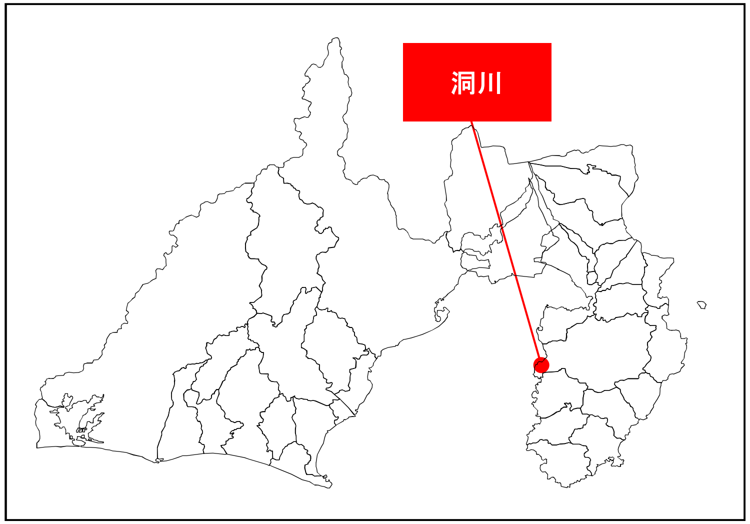
事業箇所位置図

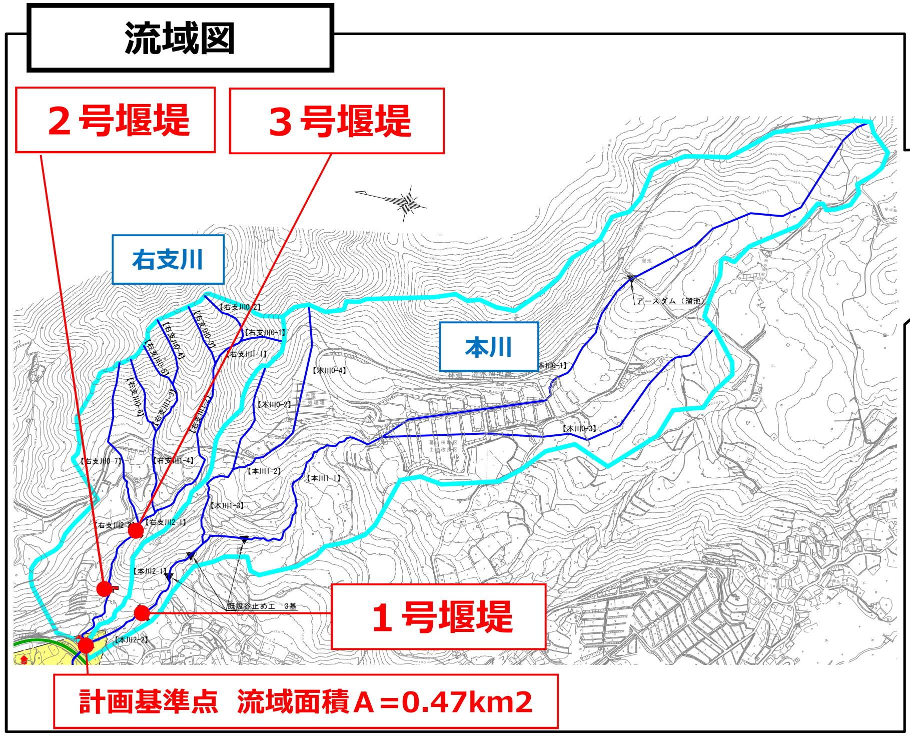
：通常砂防事業	4箇所
：火山砂防事業	1箇所
：地すべり対策事業	1箇所
：急傾斜地崩壊対策事業	5箇所

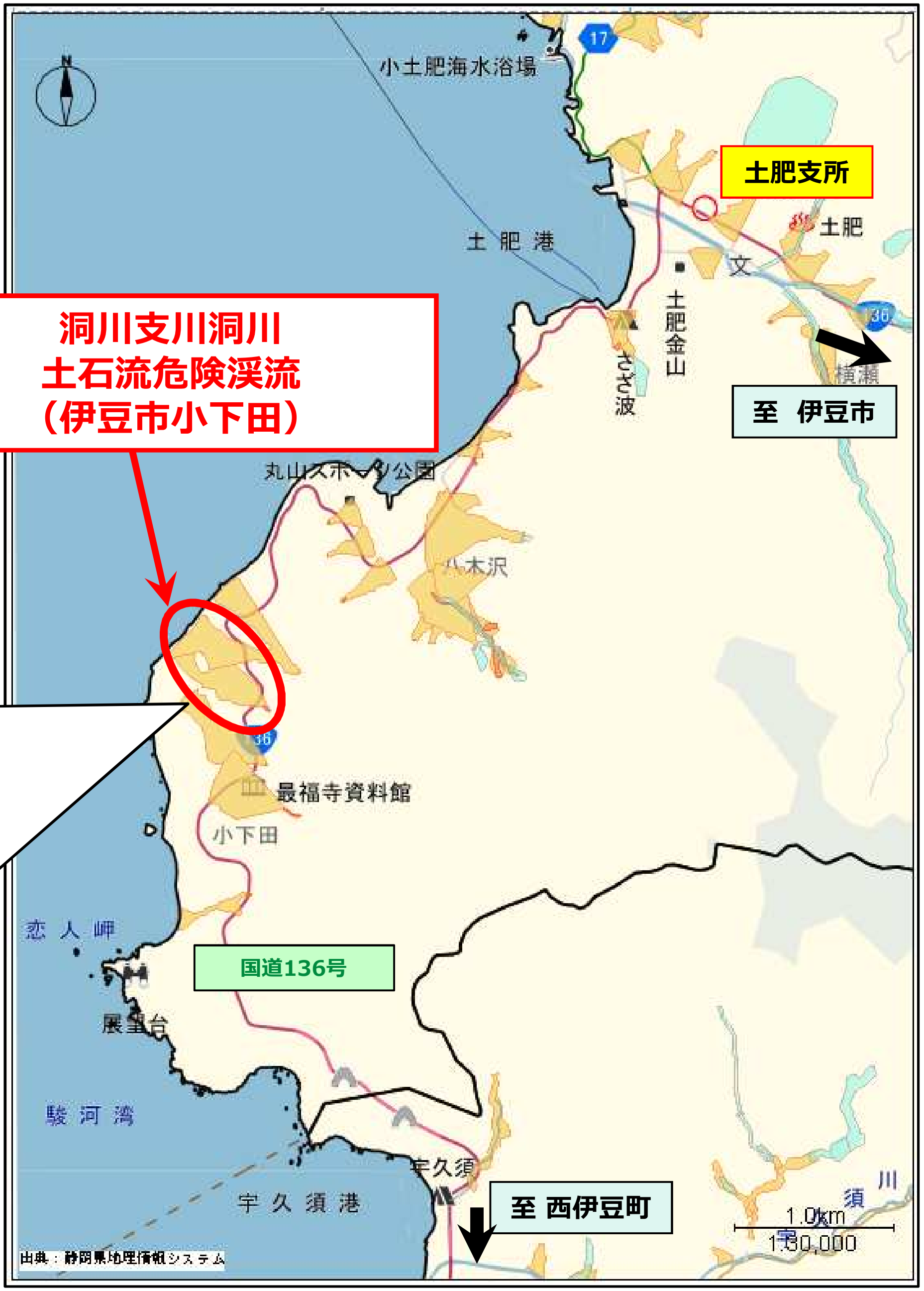


交通基盤部　河川砂防局　砂防課

位置図

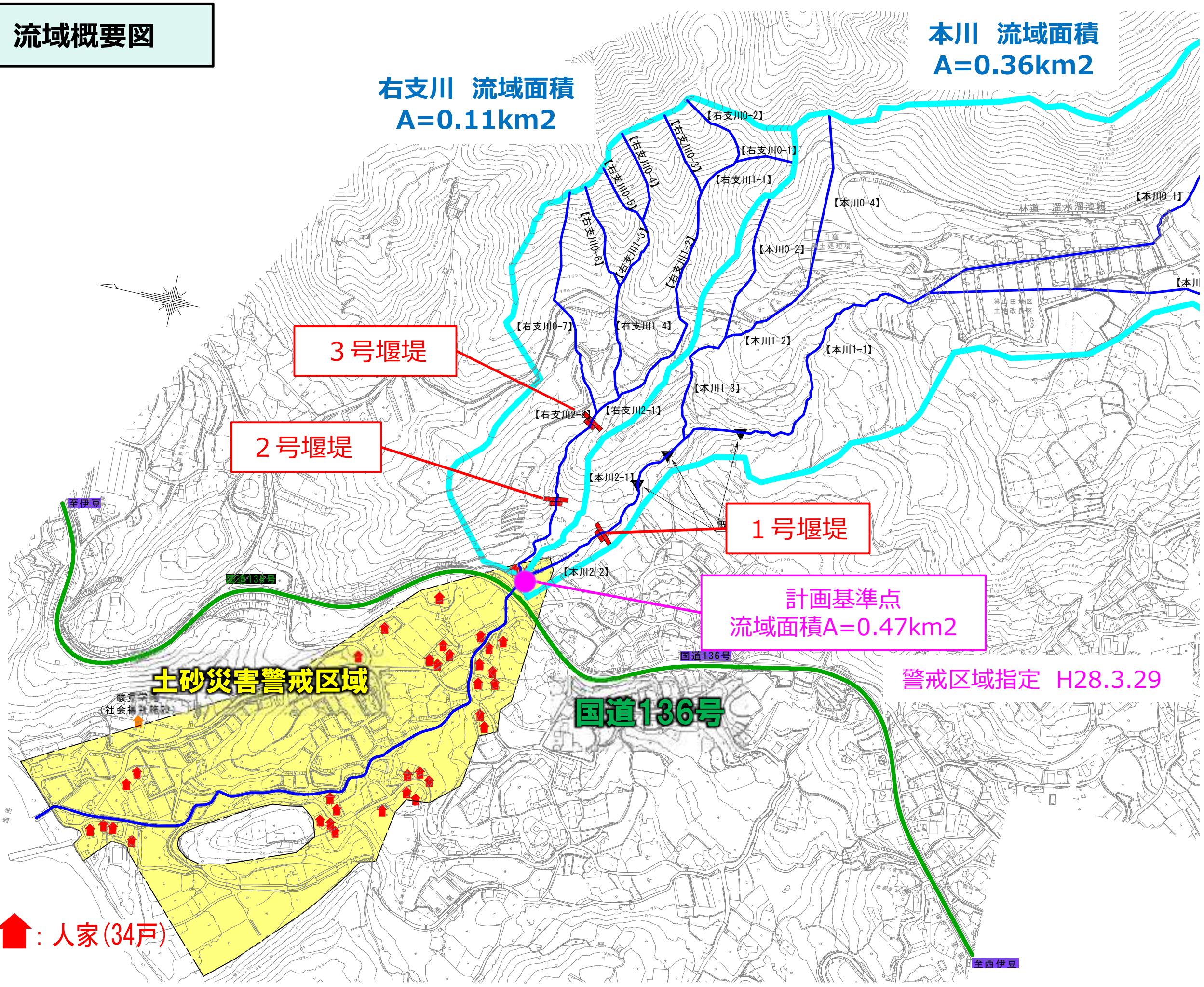

洞川


流域図
2号堰堤
3号堰堤
右支川
本川
1号堰堤
計画基準点　流域面積A＝0.47km2


洞川支川洞川
土石流危険渓流
（伊豆市小下田）
小土肥海水浴場
土肥支所
土肥
土 肥 港
土肥金山
至　伊豆市
丸山スポーツ公園
八木沢
最福寺資料館
小下田
恋 人 岬
国道136号
展望台
駿 河 湾
宇久須
宇 久 須 港
至 西伊豆町
1.0km
1:30,000
出典：静岡県地理情報システム

事業の必要性

流域概要図



荒廃状況

社会福祉施設（駿豆学園）

国道136号（緊急輸送路）

【保全対象】
- 要配慮者利用施設（社会福祉施設）駿豆学園
- 人家：34戸
- 国道136号【緊急輸送路】：95m

【洞川】
- 砂防堰堤 3基
- 透過型

洞川の事業概要

渓 流 名 ： 洞川支川洞川（伊豆市小下田地先）

事業期間： 令和元年度～令和9年度

事 業 費 ： 500百万円

事 業 量 ： 砂防堰堤工　3基

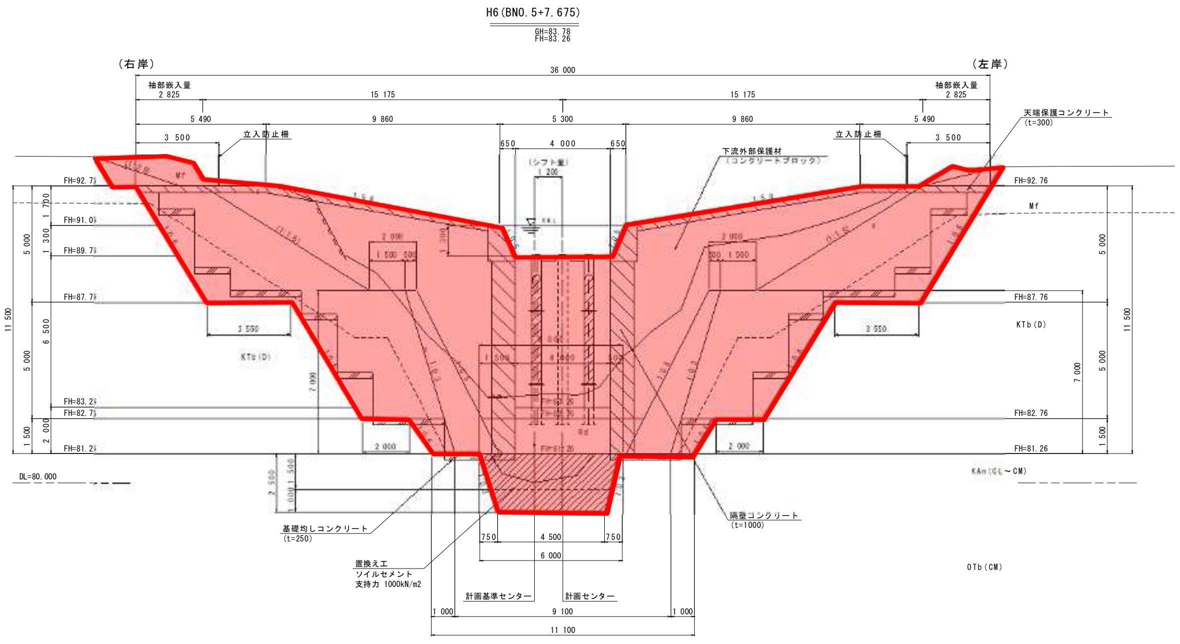
・1号堰堤（透過型）　高さ8.5m、堤長36.0m、貯砂量1,722m3

・2号堰堤（透過型）　高さ5.0m、堤長28.5m、貯砂量　122m3

・3号堰堤（透過型）　高さ9.0m、堤長45.0m、貯砂量3,011m3

※2号堰堤：今後、詳細設計予定

1号堰堤　本堤工正面図（透過型）



透過型堰堤（参考）

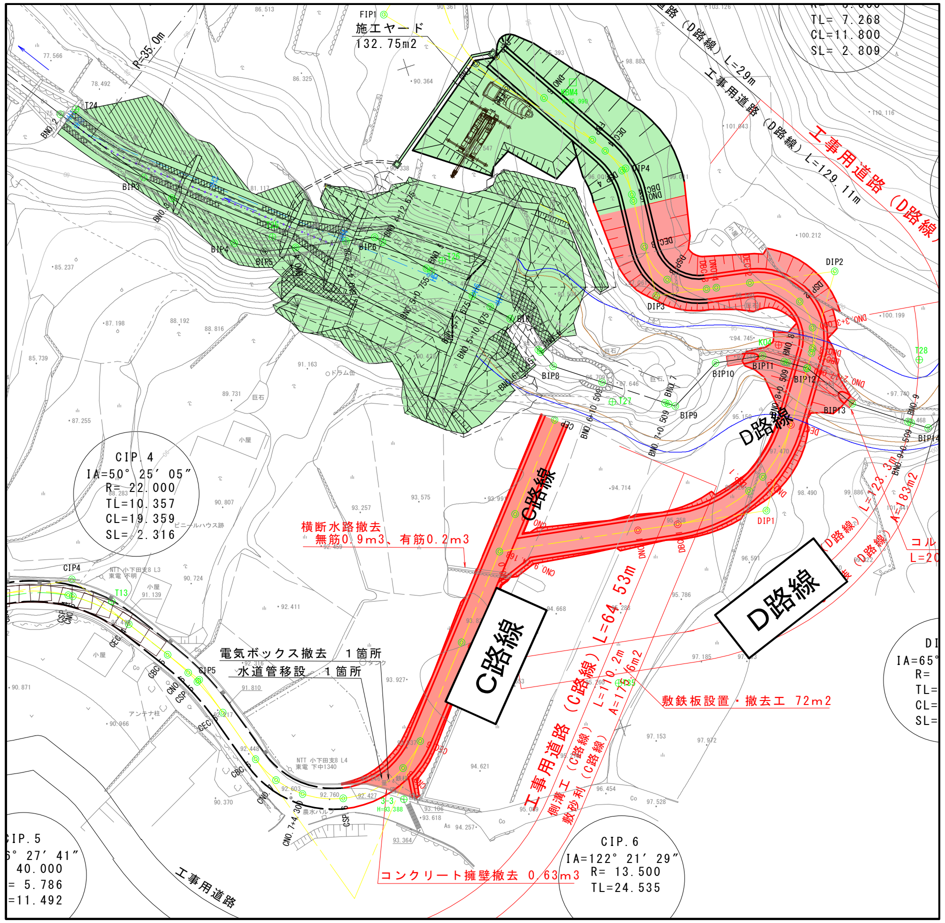
洞川の事業概要

■平面図

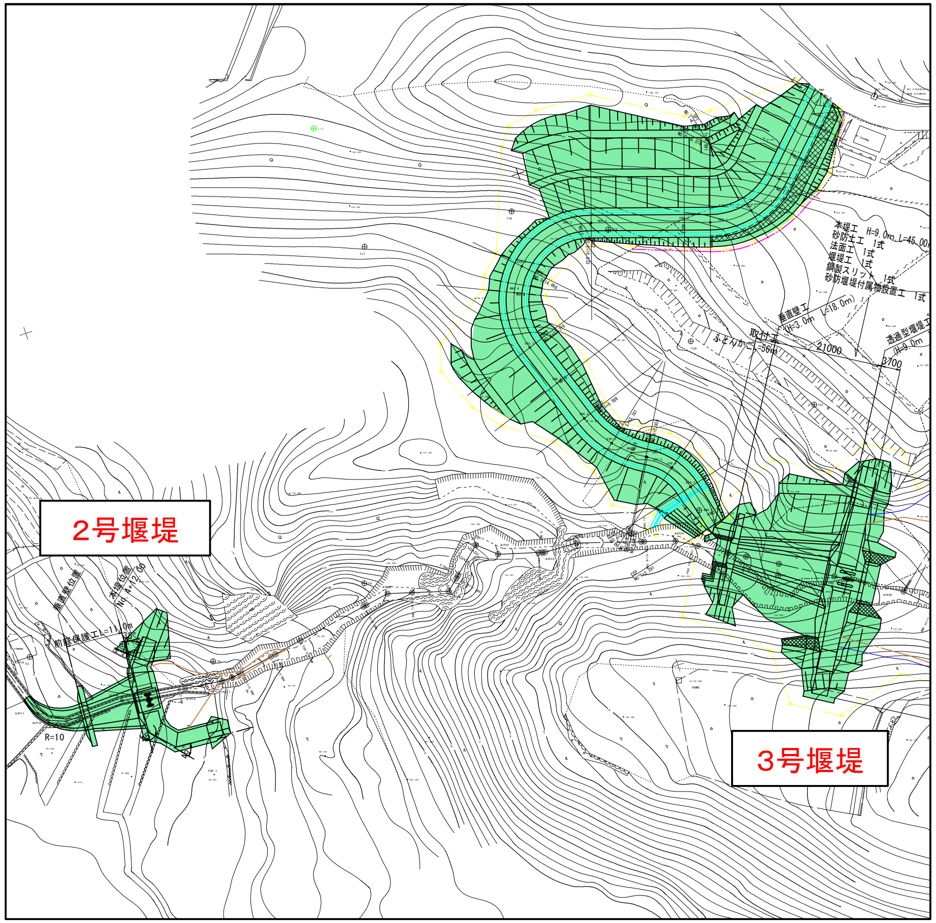
【凡例】

- R5 以降工事箇所
- R4 工事箇所

１号堰堤（本川）



２号堰堤、３号堰堤（右支川）

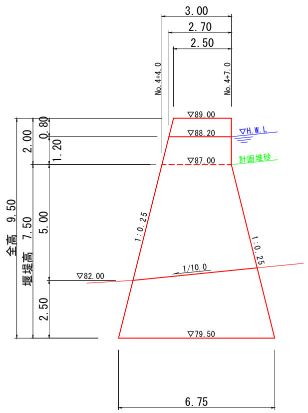


洞川の事業概要

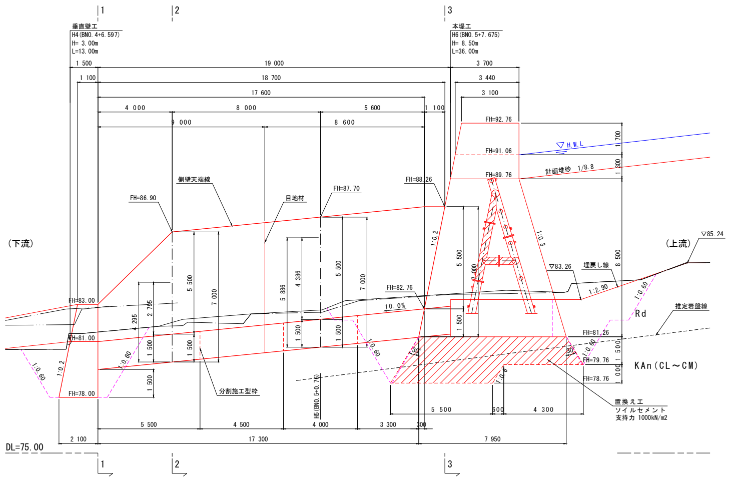
前回からの変更点・理由

	前回（H31）	今回（R5）	主な変更理由
①計画期間	H31～R7	H31～R9 （＋2年）	・詳細設計の結果、洗掘防止対策として前庭保護工等を設置する必要があることが判明したため、完了年度を延伸した。（１号、３号堰堤）
②全体事業費	301百万円	500百万円 （＋199）	・詳細設計の結果、洗掘防止対策として前庭保護工等を設置する必要があることが判明したため、事業費が増大した。（１号、３号堰堤）

変更前：本堤工（３号堰堤）



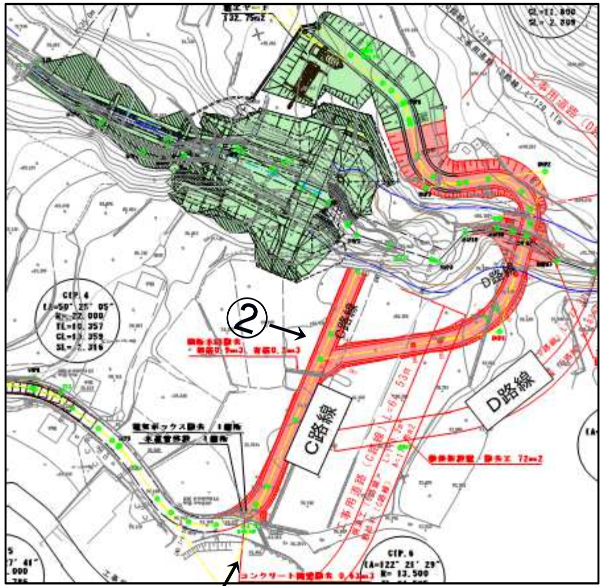
変更後：本堤工+前庭保護工（３号堰堤）



施設の整備状況

■施工状況（1号堰堤）

写真位置図



C路線①

整備前

整備後

※C路線は工事用兼管理用道路であり、施工完了後も堰堤の維持管理に使用する。

D路線②

整備前

整備後

※D路線は工事用道路であり、借地しているため、施工完了後は原形復旧し、地権者に返却予定。

事業の投資効果

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益（B）

総便益　24.99億円

□直接被害
・家屋被害、道路被害、人的被害（逸失利益）
□間接被害
・営業停止、交通途絶、人的被害（精神障害）

総費用（C）

総費用　4.43億円

・建設費
・維持管理費

費用対効果(B/C):5.6　経済的内部収益率(EIRR):33.5%

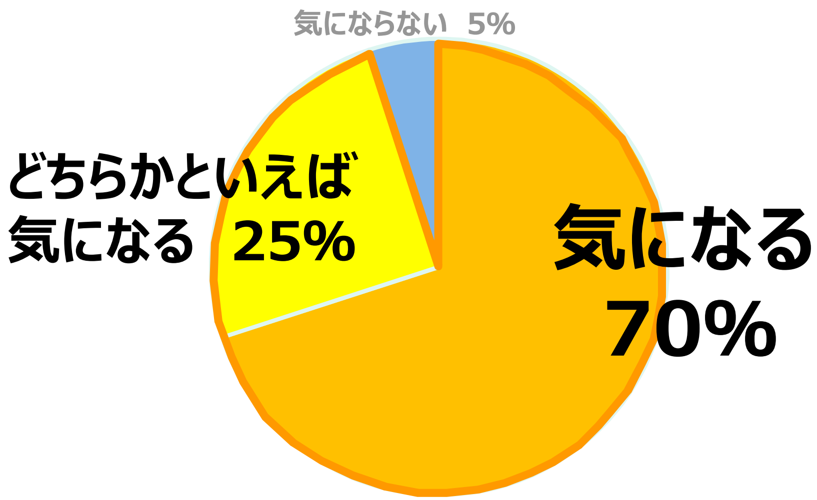
前回の費用対効果(B/C):9.4
詳細設計の結果、洗掘防止対策として前庭保護工を設置する必要があることが判明し、事業費が増大したことにより低下

今後の事業の進捗の見込み

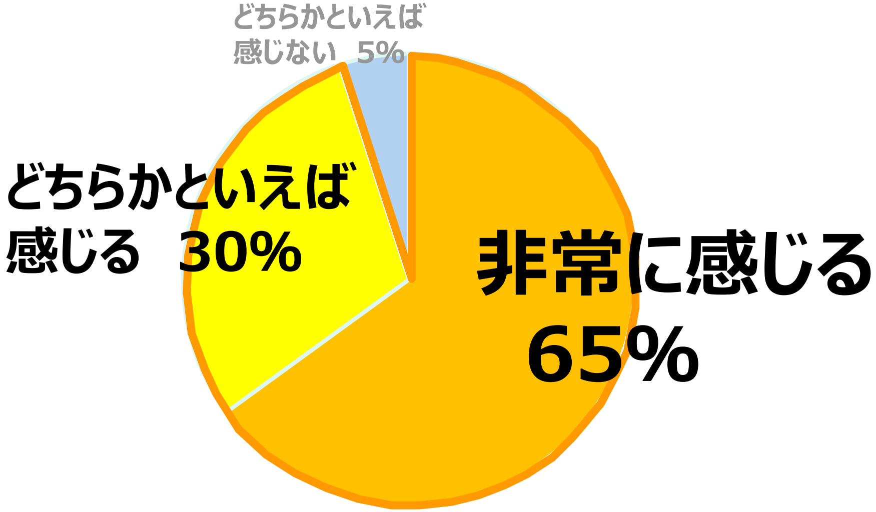
事業に対する地元からの要望は強く、用地取得や借地などの地元調整は円滑に行われており、今後も事業が順調に進捗する見込みである。

47世帯中20世帯の回答あり

降雨時に渓流が気になるか？



今後も土石流危険渓流において
「砂防事業」の必要性を感じるか？



新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性

- **現地発生土砂を堰堤の内部材として有効活用するINSEM工法により、コスト縮減、環境負荷の低減を図る。**

対応方針（案）

近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生している。

◎本事業は

- 土石流による被害を未然に防止するものである。
- 伊豆市においても平成31年度からこれまでに11件の土砂災害が発生しており、事業に対する地元の期待も大きい。
- 費用対効果も見込まれ、安全･安心な生活基盤に大きく寄与する。

⬇

事業を継続して早期完成を図る。